

全国小学生プログラミング大会

元気、やる気(田子)最優秀

独自のプログラムで制作したアプリなどの出来栄を競う「リンクステーションPRESENTS 2025年度全国選抜小学生プログラミング大会青森県大会」(東奥日報社主催、リンクステーション特別協賛)の最終審査が14日、青森市の東奥日報新町ビルで開かれた。最優秀賞には「ガリステムニュー」を制作した田子ICTクラブのチーム「元気、やる気」が選ばれた。

大会には12組の応募があり、書類による1次審査を通過した5組が最終審査に臨んだ。作品の発想のきつかけや工夫した点、特徴を3分間で紹介した後、審査員と質疑応答を行った。チーム「元気、やる気」は長沢和季さん、田中千尋さん(ともに田子ICTクラブ、田子小6年)が結成。田子町の名物「田子ガリックステーキ」は「ガリステムニュー」を観光客らに楽しんでもらおうと、タブレットを使って日本語と英語、中国語でメニューを説明する機能を作った。言語の種類を選ぶと食べ方とか条な



最優秀賞を受賞した「元気、やる気」の田中さん(左)と長沢さん

どを文字と音声で説明を見聞きできる。注文して待っている間や食べている最中に使つと「もっとおいしく食べられると思う」と発表した。

2人は来年3月の全国大会(東京)に出場する。長沢さんは「田子町はニンニクが日本一なのでガリステムニューを紹介したい」、田中さんは「もっとおいしくうに見えるように絵やレイアウトを整えていきたい」と語った。(鳥谷部知子)ほかの入賞者は次の通り。

▽優秀賞 TKT「宇藤麗、佐藤らら(田子ICTクラブ・小6)▽優良賞 スマイル「山本華永、澤口絵舞、佐竹直穂(田子ICTクラブハウス・小2)▽リンクステーション賞 高沢明晃(田子ICTクラブ・小4)▽東奥日報社賞 川崎太智(八戸・三条小4)